

## 施工環境

### 施工温度範囲: 12°C～38°C

- 低温時には、温風ヒーターなどを使用して、下地基材やフィルムの温度を上げてください。温度が低いと接着不良が生じたり、施工後にフィルムが膨れる場合があります。
- 角Rにフィルムを折り曲げて貼った場合、製品によって角R部分が白くなる場合があります。貼る際にはドライヤーで暖めながら貼るか、貼った後に暖めてください。低温時にはフィルムが裂けやすくなりますので、カットする際の取扱いにはご注意ください。
- 高温時にはフィルムがより柔軟になり、施工しにくくなる場合があります。

### 照明

- 必要に応じて投光機などを使用して、明るい場所で施工してください。照明が暗い場合、下地基材とフィルムとの間の異物混入や気泡を見逃す恐れがあります。

### 環境

- ほこり、ちりなどが少ない場所で行ってください。施工する面がでなく、床の清掃を行ってから施工してください。
- 空気が乾燥して静電気が発生しやすい場合は、床に霧吹きなどで水をふきかけてください。

### 施工後の環境

- 軒下や軒先は屋外ですので、**☆☆印**(お日様マーク)のついた品番をご使用ください。屋内であっても日光の影響を受ける場合は、**☆☆印**のついた品番を選定してください。
- 常時50°C以上となる場所や、水中・湿度が高い場所への施工は避けてください。
- 浴室への施工は3M™ ダイノック™ フィルム NEOシリーズをご使用ください。
- 内装工事など定常的に多くのほこりや微粒子などが発生する環境下においては汚れるにご注意ください。表面のエンボスに汚れが詰まってしまう清掃が困難な場合があります。(表面の微細な構造の特性上、CHシリーズ、VMシリーズなどでは特にご注意ください)

### 屋外での貼り付け

- 下記に記載した情報は参考情報で、保証するものではありませんのでご了承ください。
- ダイノック™ フィルムは原則として内装用途にお使いください。屋外で使用する場合、ダイノック™ フィルム EXシリーズまたは、色柄見本の**☆☆印**の製品からお選びください。
- ダイノック™ フィルム EXシリーズは、屋外の垂直面で約10年の耐候性を有する製品です。アルミニウム下地を推奨し、屋外の様々な用途でご利用いただけます。選定・施工にあたっての注意事項はP29～30を参照ください。
- ☆☆印**の品番は垂直面に使用した場合、色の褪色、変色について3～5年の耐候性を有します。傾斜面や水平面に使用した場合の耐候年数は、垂直面の場合よりも短くなります。
- ☆☆印**の製品は、屋外に面した塩ビ鋼板下地に使用すると変色する場合がありますので、使用しないでください。**☆☆印**の製品は変色の心配はありませんので、安心してお使いください。
- 端部または貼り付け基材側から水分が入り込むと、接着不良を起こす恐れがあります。金属等の含水しない下地を選択してください。水平面など継続して表面に水が溜まる部位や形状では、短い期間で劣化が進む場合があります。
- 木やケイ酸カルシウム板、石膏ボード、スレート等窯業系などの含水する下地では、施工後膨れや剥がれ、変色が発生する場合がありますので使用しないでください。

## 施工場所

### 塩ビ鋼板製ドアへの貼り付け

- 屋外に面した塩ビ鋼板製ドアへの施工は、専用に開発された3M™ ダイノック™ フィルム DRシリーズを使用してください。
- エンボスの深い塩ビ鋼板に重ねて貼る場合、接着面積が少なくなるので下地処理にご注意ください。

### ゴムと接触する場合

- カウンター、天板、トイレブースなどの用途にダイノック™ フィルムを使用した場合、機器の足や戸当りのゴムなどが長時間接触すると、ゴムの材質によってはダイノック™ フィルムが変質する恐れがあります。

### 重ね貼り

- 重ね貼りした場合、不燃材料とはなりません。
- 必ずダイノック™ フィルム表面に3M™ プライマー DP-900N3を塗り、十分に乾燥してから貼ってください。
- エンボス、機能製品によっては重ね貼りしにくいものがありますので、P27～30の「シリーズ別 選定・施工にあたってのご注意」を参照してください。

- 3M™ ダイノック™ フィルム ARシリーズ、3M™ ダイノック™ フィルム EXシリーズの上に重ね貼りする場合、サンドペーパーでフィルム表面をサンディングしてから、DP-900N3を塗布してください。

### 下地の色

- 製品によっては、下地の色が透け意匠に影響を与える場合がありますので、ご使用の際には十分ご注意ください。

### テープなどを貼る場合

- 粘着テープ、養生テープなどをフィルム表面に長時間貼ったままにしないでください。テープの粘着剤がダイノック™ フィルムの塩ビに含まれる可塑剤の移行により軟化し、ぺた付いて、きれいに剥がせなくなる場合があります。

## 製品仕様

- カタログ掲載のチップサイズでは、全体の仕上がりイメージと異なる場合があります。サンプルを別途ご請求の上ご確認ください。特に大柄のものは、色柄や突き合わせができるかなどを含めて、当社Webサイトに掲載の画像データなどでご確認ください。
- 製造上の理由により柄・エンボス柄のピッチが多少ずれる場合があります。突き合わせ貼りを行う際は柄合わせが難しいので、事前に柄合わせのズレの程度を確認してください。
- 横柄や大柄のものは、フィルムの繋ぎ箇所連続して見えません。サンプルなどで状態をご確認の上、製品および施工方法をご選定ください。
- ダイノック™ フィルムは、裏面剥離紙ロゴを同じ方向に合わせて貼り付けするのが標準です。フィルムの裁断位置により突き合わせ部の左右の色の濃さが極端に異なる場合がありますので、裁断位置や貼る方向にご注意ください。
- なお、エンボスには微妙な方向性があります。逆方向に貼ると光線の加減で色違いに見える場合がありますのでご注意ください。
- 施工の際は、裏面剥離紙ロゴにより柄の天地方向を確認してください。
- ダイノック™ フィルムは、製造工程で厳重な品質管理を行っていますが、ロットにより多少の差異が生じることがありますので、異なったロットを同じ面に使用しないでください。
- ダイノック™ フィルムは、ロールの途中にスプライス(つなぎ目)が入る場合があります。

## 施工時の注意事項

- ロールからフィルムをカットしたり、巻きなおしたりする際、フィルム表面に傷がつかないように、作業台に低摩耗性のテープを貼ったり床を養生するなどしてください。
- ロールからフィルムを巻きだして平面状にすると、剥離紙とフィルムが剥がれることがありますのでご注意ください。
- 裁断後のフィルムの一時保管は、ロール状にして端部をテープで止めて立ててください。裁断したフィルムを引きずったり、表面を直接床につけないでください。表面に傷が付いたり、破損する恐れがあります。
- 突き合わせ貼りした場合、施工後に隙間が生じる場合があります。特に濃色フィルムの場合には隙間が目立つことがありますので、フィルム施工に先立って突き合わせとなる部分の下地にフィルムと同系色の色を塗っておくことをおすすめします。隙間の発生を軽減させるために、突き合わせ部の下地基材にはプライマーを2度、または3度塗ってください。また、フィルムを重ね裁ちする際、下地基材を切らないようにご注意ください。
- 施工後のフィルムに力が常時加えられる場合、フィルムにシワが発生する場合がありますので、フィルムに力が加わらないようにしてください。特にドアノブ周りにフィルムを貼り付ける場合はご注意ください。施工後のフィルムをヘアードライヤーなどで暖めて、接着力を上げるようにするとシワの発生を軽減できる場合があります。
- 剥離紙や端材などを床に放置しないでください。踏んじられる恐れがあります。
- フィルムを繋いで施工する方法は、突き合わせする方法と重ねる方法があります。重ね貼りできない品番では突き合わせしてください。繋いで施工する方法については事前に打ち合わせのうえ施工してください。

## 施工後の注意事項

- 接着力は施工してから徐々に上昇し、3～7日で最大強度に到達します。
- 端材などを廃棄する場合、『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』に従い、許可を受けた産業廃棄物業者に処分を委託してください。

## 保管・輸送の注意事項

- 製品の保管・輸送の際にはカートン(フィルムロール梱包箱)のラベル側を揃えて積み重ねてください。その際は、6段以上積み重ねたり、パレットの2段積みをしてください。
- 輸送の際には、カートンを落とさないでください。端部が割れることがあります。
- 製品の保管は、直射日光や高湿度な環境下を避け、周囲温度38°C以下の清潔な場所に保管し、購入後1年以内に使用してください。
- 残材は購入時と同様の梱包形態にし、上記条件にて保管してください。
- ダイノック™ フィルムを使用後、残ったフィルムを保管する際には、必ずフィルムの緩みがないように手で巻きを締め、のちテープ止めて、フィルムの緩みが緩んでこないように注意してください。フィルムを巻いて保管しておきますと、剥離紙とフィルムに剥離が発生する場合があります。

## その他

- ダイノック™ フィルムは、製品改良等のため予告なく仕様を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 製品によっては、その他の詳細な注意事項を製品説明書および取扱説明書でご用意しております。当社Webサイト (<http://www.mmm.co.jp/cmd/dinoc/attention/>)に掲載しておりますので、ご確認ください。

## 清掃・剥離方法

### 清掃方法

- 付着した汚れはすみやかに除去してください。
- 日常の清掃は水拭きもしくは市販の中性洗剤をご使用ください。(3M™ ダイノック™ フィルム ホワイトボードフィルムでは中性洗剤のご使用を避けてください。)
- 落ちにくい汚れは3M™ クリーナー20もしくはイソプロピルアルコールをご使用ください。(3M™ ダイノック™ フィルム ARシリーズ、3M™ ダイノック™ フィルム ホワイトボードシリーズではご使用を避けてください。強アルカリ性洗剤、強酸性洗剤またはシンナー等の、有機溶剤のご使用は避けてください。)
- 清掃は柔らかい布、スポンジ等をご使用ください。研磨剤の入ったスポンジは絶対に使用しないでください。清掃後、ダイノック™ フィルム表面に残った洗浄剤は水拭きできれいに除去してください。

### 剥離方法

ダイノック™ フィルムは貼り付け後、時間が経過するに従って剥がしにくくなります。剥離する必要がある場合は下記の手順で行ってください。

#### 剥離時の注意事項

- 剥がさず上から重ねてダイノック™ フィルムを貼ると、不燃材料になりませんのでご注意ください。
- 石こうボード、ケイ酸カルシウム板、ベニヤ板等の下地に貼ったダイノック™ フィルムは、下地を傷つけない剥離することはできません。

#### 剥離手順

- ①下地を傷めないように注意しながら、ダイノック™ フィルムに20cm程度の間隔で切れ目を入れてください。
- ②ヘアードライヤーでダイノック™ フィルムを温め、軟化させてください。
- ③切れ目を入れたダイノック™ フィルムを短冊状に剥がして行ってください。
- ④剥がした後、下地に粘着剤が残る場合があります。残った粘着剤はシンナー、もしくは3M™ クリーナー20、3M™ クリーナー30を使用して取り除いてください。取り除いた後も、下地によっては貼り跡が残る場合があります。